

2026(令和8)年1月29日 報道発表資料
[本リリース発信元] ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)
広報担当:山本、儀三武

2026年度(令和8年度)

ロームシアター京都自主事業ラインアップ 第1弾

ロームシアター京都は2026年1月10日、リニューアルから10周年を迎えました。これを記念し、2025年10月31日から記念事業を実施しています。この記念事業は、周年にあたる来年度2026年12月31日まで、展開してまいります。すでに、既出の情報もございますが、10周年ならではの豪華なラインアップに是非ご注目いただき、貴媒体にてご紹介いただきますようお願い申しあげます。

本リリースの内容

1. ロームシアター京都10周年事業テーマ(2025-2026年度ラインアップテーマ)
2. 2026年度自主事業ラインアップ
3. ロームシアター京都10周年記念ロゴ
4. 10周年記念メインビジュアル
5. ロームシアター京都10周年「連携事業」

※3月25日には、各公演の詳細等を含めて「ロームシアター京都自主事業ラインアップ 第2弾」を発表予定です。ぜひ、こちらもご注目ください。

[本リリースに関するお問合せ先]

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当:山本、儀三武
電話:075-771-6051(10:00~17:00) FAX:075-746-3366 E-mail:press@rohmtheatrekyoto.jp

1. ロームシアター京都10周年事業テーマ(2025-2026年度ラインアップテーマ)

つづきのはじまりはじまり

ロームシアター京都は、2026年1月にリニューアルオープンから10年、新たな幕が開く節目を迎えます。テーマとした「つづきのはじまりはじまり」には、これまでの歩みと未来が交差する場として、そして皆さまと共に新たな物語を紡いでいくという期待が込められています。

2. 2026 年度 自主事業ラインアップ

※本リリースにて発表しているラインアップは 2026 年度予定している自主事業のうち一部です。各公演に関する詳細および本リリースに掲載されていない事業については、「ロームシアター京都自主事業ラインアップ 第2弾」(3月 25 日予定)にて発表いたします。

2026 年度は、京都に縁のあるアーティストたちの創作に光を当てます。京都という場所で育まれてきた表現が、さまざまなかたちで舞台に立ち上がります。そして、その歩みを未来へとつなぐ創作が動き出します。あわせて、子どもを対象とした事業や、劇場に親しんでもらうためのアウトリーチにも積極的に取り組み、幅広い世代が舞台芸術と出会う機会を広げていきます。

まず、創立 70 周年を迎える京都市交響楽団とは、京都における音楽分野をリードする実演団体との協働を含む、2つのプロジェクトを実施します。12月の Project B「ブリテン：春の交響曲」では、東野梓子、康本雅子といったダンサーを迎え、音楽と身体表現が交差する意欲的なコラボレーションに挑みます。また、音を軸にした実験的なパフォーマンスシリーズ「Sound Around」では武田真彦が新作を発表し、「レパートリーの創造」では和田ながら（したため）、西田悠哉（劇団不労社）、野村眞人（レトロニム）が、それぞれ新作に取り組みます。

さらに、世界から注目を集めるマルチメディア・パフォーマンス・グループ〈ダムタイプ〉が、2002 年以来となる新作『2020』を、ついに京都で発表します。本作は当初、2020 年 3 月に上演予定でしたが、コロナ禍により中止となり、映像公開のみが行われてきました。数年の時を経て、舞台作品として京都でようやく初演を迎えます。記念事業の掉尾を飾るのは、京都を代表する劇作家・演出家、土田英生 (MONO)による朗読劇です。京都のまちや人々を題材に創作され、出演者を一般公募しながら、広く参加を呼びかけるプロジェクトとなります。

こうした創作と並び、2026 年度には注目の海外作品を 2 作品上演します。1 作品目は、1983 年にブリュッセルで設立され、コンテンポラリーダンスの最先端を走り続けているダンスカンパニー、Rosas (ローザス)による『Il Cimento dell' Armonia e dell' Invention — 和声と創意の試み』です。誰もが耳にしたことのあるアントニオ・ヴィヴァルディ作曲《四季》が持つ「自然への賛歌」という側面に注目し、人間と自然の関係や環境問題へのまなざしを掘り下げます。2 作品目は、リトアニアから初招聘となる、ヴァイヴァ・グライニテ（作）、リナ・ラペリテ（作曲）、ルギーレ・バルズジュカイテ（演出）による現代オペラパフォーマンス『Have a Good Day !』（仮）です。10 人のスーパー・マーケットのレジ係が歌いながら、日常の労働や消費社会をユーモラスかつ批評的に描き、世界各地で高い評価を得てきた作品です。

ロームシアター京都は、2026 年 1 月 10 日に開館 10 周年を迎えました。この 10 年間、劇場を支えてくださった多くの皆さまへの感謝を胸に、その歩みを確かな土台として、私たちは一歩一歩、次の挑戦へと進んでいきます。新たな出会いと創造の先で、また新しい物語が生まれていくことでしょう。みなさま、ぜひ劇場でお会いしましょう。

■自主事業

・市民寄席（第380回～第384回：年5回）

日程：5月26日（火）、7月28日（火）、9月27日（日）、11月24日（火）、2027年1月17日（日）
会場：サウスホール

・Sound Around 006 10周年記念事業

日程：6月13日（土）、6月14日（日） 会場：ノースホール
アーティスト：武田真彦

・ホリデー・パフォーマンス Vol.21～Vol.23

日程：①6月13日（土）、②7月19日（日）、③2027年2月13日（土）

会場：パークプラザ3階共通ロビー等

① Vol.21 フランソワ＝グザヴィエ・リシャール、② Vol.22 菅沼起一 ほか

③ Vol.23 上野訓子（コルネット）、大内山薰（バロックヴァイオリン）、淡島宏枝（ドウルツィアン）

・Rosas『Il Cimento dell' Armonia e dell' Inventione—和声と創意の試み』 10周年記念事業

日程：6月27日（土）、6月28日（日） 会場：サウスホール

振付：アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル、ラドワン・ムリジガ

音楽：アントニオ・ヴィヴァルディ《四季》

録音：アマンディーヌ・ベイエ、リ・インコニーティ Alpha Classics / Outhere Music (2015)

・プレイ！シアター in Summer 2026

〈ステージプログラム〉アガサ&アドリアン『ノルムーふたりのバランス』（仮）

日程：7月18日（土）、7月19日（日） 会場：ノースホール

〈ステージプログラム〉『やさしいカクメイ』

日程：7月25日（土）、7月26日（日） 会場：ノースホール

京都市交響楽団 0歳からの夏休みコンサート

日程：8月15日（土） 会場：メインホール

※オープンデイの一貫として実施します

・ロームシアター京都 10周年記念事業&京響 70周年共同プロジェクト **10周年記念事業**

Project A「オルフ：カルミナ・ブランナ」ほか

日程：8月23日(日) 会場：メインホール

指揮：ヤン・ヴィレム・デ・フリント(首席客演指揮者)

独唱：安井陽子(ソプラノ)、藤木大地(カウンターテナー)、大西宇宙(バリトン)

合唱：京響コーラス、京都市立芸術大学、京都市立京都堀川音楽高等学校

児童合唱：京都市少年合唱団 管弦楽：京都市交響楽団、京都市立芸術大学

・現代オペラパフォーマンス『Have A Good Day!』(仮) **10周年記念事業**

日程：9月25日(金)、9月26日(土) 会場：サウスホール

作：ヴァイヴァ・グライニテ 作曲・音楽監督：リナ・ラペリテ

演出・デザイン：ルギーレ・バルズジュカイテ

・OKAZAKI PARK STAGE 2026

日程：9月下旬～10月下旬 会場：ローム・スクエア

・レパートリーの創造 ホープス **10周年記念事業**

西田悠哉／劇団不労社 新作『暗黒の喜劇』

日程：10月上旬 会場：ノースホール

野村眞人『吉日再会』 **10周年記念事業**

日程：10月30日(金)～11月1日(日) 会場：ノースホール

野村眞人 新作『観光』(仮) **10周年記念事業**

日程：11月6日(金)～11月8日(日) 会場：ノースホール

・新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室 2026 『蝶々夫人』

日程：10月26日(月)、10月28日(水) 会場：メインホール

指揮：城谷正博 演出：栗山民也 合唱：新国立劇場合唱団 管弦楽：京都市交響楽団

・ロームシアター京都 10周年記念事業&京響 70周年共同プロジェクト **10周年記念事業**

Project B 「ブリテン：春の交響曲」ほか

日程：12月4日(金) 会場：メインホール

指揮：大友直人(桂冠指揮者)

独唱：小林沙羅(ソプラノ)、金子美香(メゾ・ソプラノ)、笛田博昭(テノール)

合唱：東京混声合唱団 児童合唱：京都市少年合唱団 管弦楽：京都市交響楽団

ダンス：東野祥子、康本雅子

・レパートリーの創造 和田ながら 新作 **10周年記念事業**

日程：12月4日（金）～12月6日（日） 会場：ノースホール

構成・演出：和田ながら

・ダムタイプ『2020』 **10周年記念事業**

日程：12月11日（金）～12月13日（日） 会場：サウスホール

・土田英生 新作朗読劇 **10周年記念事業**

日程：12月20日（日） 会場：サウスホール

■共催事業

・京都市交響楽団 オーケストラ・ディスカバリー2026

日程：①6月14日（日）、②2027年2月14日（日） 会場：メインホール

①テーマ：70周年プログラム—発見！ぎゅぎゅっと！傑作選！ 指揮：太田弦

②テーマ：バレンタイン・スペシャル・コレクション 指揮：川瀬賢太郎

主催：京都市交響楽団

・東京バレエ団 ブルメイステル版『白鳥の湖』

日程：9月17日（木） 会場：メインホール

主催：一般社団法人日本バレエ団連盟、公益財団法人日本舞台芸術振興会

・ロームシアター京都×京都芸術センター U35 創造支援プログラム “KIPPU”

日程：①12月、②2027年2月 会場：ノースホール

参加団体：①うさぎの喘ぎ、②増川建太／こむらがえり體 主催：各参加団体

・ニットキャップシアター

日程：2027年2月4日（木）～2月7日（日） 会場：ノースホール

脚本：ごまのはえ 演出：イトウワカナ（intro） 主催：一般社団法人毛帽子事務所

3. ロームシアター京都 10周年記念ロゴ

10周年のお祝いと、未来への期待を込めたシンボルマーク。くるくるとまわる動的な展開で「劇場文化」を、明るいグラデーションカラーで「多様な可能性」を表現しています。デザイン:ym design Co. Ltd.



ロームシアター京都
10周年記念事業

4. 10周年記念メインビジュアル

tupera tupera (ツペラ ツペラ)

10周年記念メインビジュアル原画展示

日程: 1月10日(土) ~ ※2026年末頃まで展示予定

会場: プロムナード チケットカウンター横 無料・申込不要

誰かの何かのいつかの「つづき」が「はじまり」となる場に岡崎公会堂から京都会館、そしてロームシアター京都へ。時代とともに姿を変えながら場の記憶を継承してきた本劇場は、伝統芸能から現代演劇やダンスまで、多彩な表現を生みつづける文化の場でありつつ、併設するブック&カフェ、周りを囲む公園、寺社、文化施設など、様々な人々が交差する生活の場として、「劇場」の在り方をつねに刷新しつづけてきました。そんなロームシアター京都らしさに力タチを与えたのは、京都を拠点に活躍する tupera tupera です。俯瞰したロームシアター京都の建築の形の類似を起点に、京都の海をたゆたう「鯨=クジラ」に肖り、劇場に宿るスピリットを具現化しました。奇しくも「鯨」には「京」の字が覗きます。多様な存在を包み、神話や芸術作品にも多く登場する創造と神秘の生物である鯨は、ロームシアター京都という変化しつづける有機体そのもの。建築家・前川國男の設計、そしてそれを継承した香山壽夫の想いも宿して、海がどこまでもつながっているように、世界へ、未来へと、京都の海から波を起こしつづけます。誰かの何かの「つづき」がいつでも「はじまり」となる、生きた場であることを願って。



アート: tupera tupera (亀山達矢、中川敦子) デザイン: 北原和規 (UMMM)

写真撮影: 山地憲太 (SHINSEKI Inc.)

tupera tupera | ツペラツペラ

亀山達矢と中川敦子によるユニット。絵本やイラストレーションをはじめ、TV や舞台、空間のアートディレクションなど、様々な分野で幅広く活動している。著書に「かおノート」(コクヨ)「やさいさん」(Gakken)「いろいろバス」(大日本図書)「うんこしりとり」(白泉社)など多数。海外でも多くの国で翻訳出版されている。NHK E テレの工作番組「ノージーのひらめき工房」のアートディレクションも担当。絵本「しろくまのパンツ」(ブロンズ新社)で第18回日本絵本賞読者賞、Prix Du Livre Jeunesse Marseille 2014 (マルセイユ 子どもの本大賞 2014) グランプリ、「パンダ銭湯」(絵本館)で第3回街の本屋が選んだ絵本大賞グランプリ、「わくせいキャベジ動物図鑑」(アリス館)で第23回日本絵本賞大賞を受賞。2019年に第1回やなせたかし文化賞大賞を受賞。

tupera tupera 公式 WEB サイト : <https://tupera-tupera.com/>



photo shingo mitsuno

5. ロームシアター京都 10 周年「連携事業」

ロームシアター京都が開館 10 周年を迎えるにあたり、記念すべき一年と一緒に盛り上げてくださる催物を募集し、10 周年連携事業として開催します。

※以下は、2026 年度に開催するロームシアター京都 10 周年「連携事業」です。2025 年度実施分については以下、ロームシアター京都ウェブサイトをご参照ください。

<https://rohmtheatrekyoto.jp/10th-anniversary/>

- ・ローム ミュージック フェスティバル 2026

日程 : 4 月 18 日 (土) ~ 4 月 19 日 (日)

会場 : メインホール、サウスホール、ローム・スクエア

お問い合わせ : otonowa

- ・KYOTO COLLECTION VOL. 9

日程 : 9 月 6 日 (日) 会場 : メインホール

お問い合わせ : 株式会社京都コレクション&エンターテインメント

- ・SHAKTI 「砂の女」

日程 : 9 月 26 日 (土) 会場 : ノースホール

お問い合わせ : Shakti

- ・Brass Ensemble L.J.C. クリスマスコンサート

日程 : 12 月 12 日 (土) 会場 : ノースホール

お問い合わせ : Brass Ensemble L.J.C.